

20/3/23 河村市長定例記者会見(名古屋城部分)

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

幹事社:もう一点話が変わるんですけど。

名古屋城なんですけれども、当局としては今月中に全体整備検討会に2028年10月に完成する新工程案を諮問したいという意向をしめしたんですけれども、先日特別史跡の遺構を壊してしまった事件ありましたがそれも含めてその後、市長としての考えがどうなったのか聞かせてください。

市長:あそこの、なんですか、入って行ったとこの左側にあります、なんだったけ炭小屋じゃないけど

記者:米蔵

市長:米蔵の石垣というか石が積んであるのを、私もこの間見に行きましたけどとんでもないことでね、だけど正直に本当のことをちゃんと文書で書けと今言ったんです。なんでこんなことした。そりゃこれは謝らんいかんし、再発防止策きちんとやらんにゃん。確かに計画書には学芸員が立ち会うことが書いてあります。直ぐ近くにおったらしいんですよ、どうも話によると、それでは済まんのじゃないのと言ってますけど。

これはきちっと本当のところ丁寧に書いて報告して文化庁に謝りに行かにゃいかん、具体的防止策を講じてと思っております。

竣工時期につきましては、わしもそもそもですね、3月いっぱい位、もういっぱいですけど。

大体どういうふうにやっていくかという一定の調査の目途がつくよと。

石垣部会全員の意見でないけど、部会の方から聞いてとりまして、それを受けてですね一応。それから付け加えた調査があるのかそれでええのか、それから出しゃええがや。出さええがや。それからからしかできんがや。わしゃ前から言うよとった。

わしも自称800万の給料しかもらっておらんもうすぐ72歳、今71だけど市長やらさしてもらつとると70、80の爺さん婆さん。特に爺さんが多いですけど頼むで本とによ、死んでまうがや早く造ってちよって皆言ってますよ、これ本とに。

まあ文化庁、文化庁との約束ですから石垣部会の皆さんとはちゃんと話し合っ、仲ようというか両方了解し合っ進むということは約束しますけど、市長だで市民の気持ちを伝えるのが仕事だで。わしも見れんようになってしまわね、これ本とにこれ、ということでしょう。ですから何時ということは、これは申し上げられない。

幹事社:今度の全体整備検討会議に新しい提案をかけるかかけないかという…。

市長:それはまだ聞いておりません。

幹事社:かけない?

市長：かけない可能性もあるかもしれないんじゃないのよう分らんけど、決まってはおらんと思いますよ。3月をみて、それから皆で相談して、まあわし呼んでもらえんけど、とにかくはよう造ってちょう死んでしまうがやね。名古屋の皆さんの夢ですがねこれ。皆んなの尾張名古屋に住む人間のね。

ようけ寄付してくれた人もようけござるし、上からの圧力じゃないですからね全然。本当に。わしの知っとる紙やっとる昔から知っとる普通の企業の方が100万円の間持ってござって、うまいこと行かなんたら返してちょといとたわ。とにかく生きとる内に造ってちょよと言われております。

幹事社：幹事社から以上なので。皆さんよろしく申し上げます。

記者：今の質問の関連で、毀損の問題の対応を先にやった方がいいので必ずしも3月末の全体整備会議会には、この新しい計画を出さなくていいという市長の考えだということですか。

市長：まあどっちがええと言う事じゃないですけど、毀損の問題をきちんと責任のある対応を取らにやいかんよ、どっちにしろ。早う文書でちゃんと誰の責任でどうしてこうなったんだと、はっきり書いて出してくれ言って言ってるんですよ。文化庁にちゃんと報告せにやいかん。それもやっぱり部会の皆さんの一応OKを取って出さにやいかん、でしょ。それからだとそう思いますよ。そういうもんでしょやっぱり。クリーンハンドの原則ってあるでしょ。

記者：仮に今回の毀損の対応をやったことで少し時間を要することがあっても市長としては、全体の工程が延びる延びないの話があったとしてもまずは毀損の問題はしっかり対応すべきだということですか。

市長：そりゃやりますけど、その延びる意味って文化庁が仮に言ったとしますが、頼むでそれはちゃんと責任もってやるで、お願いするよりしょうがない文化庁に。お願いしますと市長の仕事だがやなど。

市民の皆さんの気持ちを実現していくことが頼むことでしょうが、延びるのがええということは自分の口からは言えませんが、とにかく毀損の問題は、まず、事実はきちんと解明して文書にして文化庁に言いに行って、再発防止策をきちんとすると。それがこの場でやらなきゃならんことは間違いない。はい。